

科目名	英語 I (英語 I A-1)			科目コード	CF101	
英文名	English I A			科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	安藤 郁子		教員コード	260	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・1時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける			2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	心身の健康について、社会、環境、医学の観点から書かれた最新の英語のエッセイを精読し、自分の意見を述べる。					
授業の狙い・到達目標	英語を通じて私たちを取り巻く物事に目を向け、社会の動きに興味を抱かせる。英文を理解し、重要な個所を要約できるようにする。					
授業内容のレベル・関連科目	話題によっては難しいので、必要に応じて関連記事やプリントなどで捕捉し理解を深める。					
授業外学習(予習・復習)	単語や熟語の予習復習を行う。毎回単語の復習テストを行う。				授業外学習に必要な時間	各回2時間、合計30時間
使用教科書	Paul Stapleton, "Stay Healthy", センゲージ ラーニング株式会社					
参考書・その他教材	受講者と相談の上、適宜案内する。					
課題に対するフィードバック	講師との対話を重視し、レポートや課題についてのフィードバックや意見交換を行う。					
成績評価方法	授業への積極的な取り組み(質問、発言などを含む)(70%)、課題や小テストへの取り組み(20%)、出席(10%)で総合的に判断する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	日々の学習習慣を身につけることが、大学生活のみならず、社会に出てからも役に立ちます。欠席、遅刻をする際は必ず理由も含めてメールすること。					
科目に関連した教員の実務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話、音読、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験面接対策、高校・大学受験対策の指導を行っている。					
担当教員への連絡方法	質問はメール(初回の授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合には、再度連絡方法を確認すること。					

授業スケジュール

英語 I (英語 I A-1)

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準の説明。Chapter1 Healthy Japan シラバスを読んでおくこと Chapter1 単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Chapter2 Health and Evolutionary Psychology テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter2 単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Chapter3 Natural Defense テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Chapter4 Race and Health テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Chapter5 Understanding Medical Studies テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Chapter6 Cancer テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter6単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Chapter7 The World's Most Common Disease テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Chapter8 Instant Noodles テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Chapter9 Supplements テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Chapter10 The New Global Epidemic テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Chapter11 Health and Genes テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Chapter12 Mental Health テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Chapter13 Addictions テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter13単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Chapter14 Antibiotics テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter14単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Chapter15 The New Nutrition テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter15単語テストの準備、夏休みの課題

科目名	英語Ⅱ（英語ⅠA-2）		科目コード	CF102	
英文名	English I A		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	安藤 郁子	教員コード	260	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・1時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	現代の日本が抱える社会問題に関する英文エッセイを精読し、意見の交換、解決策についての議論を行う。政治、経済、科学、環境問題などの分野について基本的な知識を学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	英文のエッセイを通じて社会の動きに目を向け、関心が持てるようにする。新しい社会現象と共に生まれた時事英語にも着目して、日本の将来についても考察する。				
授業内容のレベル・関連科目	日常的にニュースや新聞などで、世の中の出来事を把握しておくことが望ましい。日本だけでなく、他の国々の社会現象についても興味を持つことが重要である。				
授業外学習（予習・復習）	単語や熟語の予習復習を行う。毎回単語復習テストを行う。			授業外学習に必要な時間	各回2時間、 合計30時間
使用教科書	Paul Stpleton, "Keywords for Japan Today", センゲージ ラーニング株式会社				
参考書・その他教材	適宜、学習内容を捕捉するプリントの配布する。				
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の対話を積極的に行い、一人一人に発話を促す。日本社会が抱える問題について考え、解決策を話し合う。				
成績評価方法	授業への積極的な取り組み（質問、発言などを含む）(70%)、課題や小テストの取り組み(20%)、出席(10%)で総合的に判断する				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	ニュースや新聞に興味を持つこと。世の中の動きを知ることで将来の職業選択の幅が広がります。欠席、遅刻をする際は、必ず理由も含めてメールすること。				
科目に関連した教員の実務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話、文法、音読、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策、高校・大学受験の指導を行っている。				
担当教員への連絡方法	質問はメール（初回の授業で提示）でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合には、再度連絡方法を確認すること。				

授業スケジュール

英語Ⅱ（英語ⅠA-2）

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準の説明、Chapter1 Freeters and NEETs シラバスを読んでおくこと Chapter1単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Chapter2 Low Birth Rate テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter2単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Chapter3 Working Poor テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Chapter4 Net Cafe Refugee テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Chapter5 Loser Dog テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Chapter6 False Accusation テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter6単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Chapter7 Hikikomori テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Chapter8 Cults テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Chapter9 Baby Boomers Retire テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Chapter10 Immigration テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Chapter11 Telecommuting テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Chapter12 Buying Organs テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Chapter13 Surrogate Mothers テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter13単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Chapter14 Baby Hatch テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter14単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Chapter15 Eating Disorder テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Chapter15単語の復習、これまでの復習

科目名	英語 I B-1		科目コード	CF209	
英文名	English I B		科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)	
担当教員	安藤 郁子	教員コード	260	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日・1時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	前期では、基本的な文法と使用法の確認をしつつ、英語を通じて食物や栄養、健康管理についても学ぶ。多様化、多国籍化する現代の食の話題から伝統的な食文化まで、健康を支える食の重要性を学びつつ、異文化と英語への興味を引き出すことを目標とする。				
授業の狙い・到達目標	世界の食文化や伝統について学びながら、リーディング・ライティング・スピーキング・リスニングの四技能を総合的に上達させることを目指す。現代のライフスタイルの変化に応じた健康的な食生活の重要性も認識する。				
授業内容のレベル・関連科目	中学・高校で学んだ文法の再確認をしつつ、自分の考えを積極的に発話し、生徒同士で話し合う。健康的な食生活が学力の向上にも繋がることを英語で学ぶ。				
授業外学習(予習・復習)	自宅で、文法・単語の予習復習を前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	須永紫乃生、鈴木理枝、関根紳太郎、宮下リンダ共著、”Food for Thought, Eating for Health and Happiness” 現代の食を考える、南雲堂				
参考書・その他教材	必要に応じて簡単な英字新聞の記事や関連記事の資料等を配布する。				
課題に対するフィードバック	毎回の授業で、学習した内容に対しての自分の意見や考えを述べてもらい、クラス全体でフィードバックをする。				
成績評価方法	授業への積極的な取り組み・貢献度(50%)、課題・発表内容(40%)、小テスト(10%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	基礎的な文法や単語の習得は、テキストの読解に不可欠なので、予習復習を忘れず、小テストには真剣に取り組んで欲しい。				
科目に関連した教員の実務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話や文法、音読の指導、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策指導を行っている。				
担当教員への連絡方法	質問はメール(初回授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合は、再度連絡方法を確認すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準を説明。Unit1 Counting Calories シラバスを読んでおくこと。 Unit1単語テスト準備
2 回	学習内容 予習 復習	Unit2 A New Sports Tradition テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit2単語テスト準備
3 回	学習内容 予習 復習	Unit3 As American as Apple Pie テキストを読み知らない単語、熟語を調べてくる Unit3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Unit4 Use as Directed テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Unit5 The End of Home Cooking? テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Unit6 Just Follow the Recipe テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit6 単語テスト準備
7 回	学習内容 予習 復習	Unit7 Supplemental Health テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Unit8 Time for Tea テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Unit9 Fresh from the Garden テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Unit10 Local Delicacies テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Unit11 Trick or Treat テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Unit12 Giving Thanks テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Unit13 Turkey and All the Trimmings テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit13単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Unit14 From Your Valentine テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit14単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Unit15 The Meaning of Easter テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit15単語テストの準備、後期文化祭プロジェクト準備

科目名	英語 I B-2		科目コード	CF210	
英文名	English I B		科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)	
担当教員	安藤 郁子	教員コード	260	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日・1時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	前期に引き続き、基本的な文法と単語の復習、応用に取り組みながら、国際化する日本社会の様々な場面において、英語でコミュニケーションをとれるように簡単なロールプレイを行う。会話を通じた文化の違いについても学び、楽しくおもてなしの心を学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	自信を持って初歩的な会話ができるようになることを目指し、将来の職業選択も視野に入れた英語の重要性について学ぶ。T.P.Oに合った英語の習得と、基礎的なビジネス英語にも触れる。				
授業内容のレベル・関連科目	シンプルな表現を繰り返し練習することで、海外旅行でも使えるような英語を中心に学び、海外旅行者や留学生が急増している日本の未来についても考えることを促していく。				
授業外学習(予習・復習)	自宅で、文法・単語の復習を前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	Tae Kudo著、"You're Welcome! Communication with Tourrists Made Easy", センゲージ ラーニング株式会社				
参考書・その他教材	必要に応じて、簡単な英字新聞の記事や関連記事のプリントを配布する。				
課題に対するフィードバック	単語の小テストを行い、文化祭に向けたプロジェクトでは、クラス全員で評価し合う。				
成績評価方法	授業への積極的な取り組み・貢献度(50%)、課題・発表内容(40%)、小テスト(10%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	疑問点は必ず質問し分からないままにしないこと。単語力の上達に不可欠な小テストには、真剣に取り組んで欲しい。文化祭の為のプロジェクトは提出物として評価するので、必ず期限までに完成出来るように、各自で進度を把握する。				
科目に関連した教員の実務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話や文法、音読の指導、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策指導を行っている。				
担当教員への連絡方法	質問はメール(初回授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合は、再度連絡方法を確認すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準を説明。Unit1 For here, or to go? シラバスを読んでおくこと。前期Unit15単語テストの準備、文化祭プロジェクト準備 Unit1単語テストの準備、プロジェクト課題
2 回	学習内容 予習 復習	Unit2 How many are in your party? テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit2単語テストの準備、プロジェクト課題
3 回	学習内容 予習 復習	Unit3 I'll be right back. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit3単語テストの準備、プロジェクト課題
4 回	学習内容 予習 復習	Unit4 Would you like me to heat this up? テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit4単語テストの準備、プロジェクト課題
5 回	学習内容 予習 復習	Unit5 Your total comes to 3,240 yen. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit5単語テストの準備、プロジェクト課題
6 回	学習内容 予習 復習	Unit6 I'm truly sorry for the trouble. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit6単語テストの準備、プロジェクト課題
7 回	学習内容 予習 復習	Unit7 Do you have a reservation? テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit7単語テストの準備、プロジェクト課題
8 回	学習内容 予習 復習	Unit8 Wi-Fi is available in this area. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Unit9 I highly recommend Sakura Restaurant. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Unit10 Turn right at the first intersection. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Unit11 Take the subway to Hommachi. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit11 単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Unit12 First, put money in the machine. テキストを読み、知らない単語、熟語を調べてくる Unit12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Review 1 Unit1 to Unit6 テキストの復習 Unit1 to 6単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Review 2 Unit7 to Unit12 テキストの復習 Unit7 to 12単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Review 3 Grammar, reading and listening テキストの総復習 次年度に向けての課題点、学習方法の再確認、準備。教員に相談も可。

科目名	英語Ⅲ（英語ⅡA-1）		科目コード	CF103	
英文名	English III (English II A)		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	山崎 寿美子	教員コード	147	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	国際情勢、文化、社会問題などに関するニュースや英字新聞などを活用し、それぞれのテーマについて考え、平易な英語を使ったプレゼンテーションを行う。英語を使って自らの意見を表現し、コミュニケーションをとる基礎を学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	コミュニケーションのツールとして英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。また、社会における様々な課題について自分の意見を英語で表現し、コミュニケーションがとれるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。				
授業外学習（予習・復習）	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次回の学習の導入を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要な時間	各回2時間、 合計30時間
使用教科書	特になし				
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。				
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。また、各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う。				
成績評価方法	授業への積極的な参加（質問、発言などを含む）(50%)、発表(50%)で総合的に判断する				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	積極的に発話することが英会話の始まりであり習熟への近道である。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること				

授業スケジュール

英語Ⅲ（英語ⅡA-1）

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション—授業の目的、内容、進め方について説明する。 シラバスを読み、授業の内容についておおまかに理解しておくこと。 授業の趣旨を理解し、今後の取り組みについてイメージをもっておくこと。
2 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む<文化>①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む<文化>②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む<文化>③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
5 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
6 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む<社会>①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む<社会>②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む<社会>③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
9 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
10 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<環境問題>①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
11 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<環境問題>②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
12 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<環境問題>③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
13 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
14 回	学習内容 予習 復習	英語でのプレゼンテーションを学ぶ①動画 使用する動画を観て耳を鳴らしておくこと 使用した動画を繰り返し聞いて復習すること
15 回	学習内容 予習 復習	英語でのプレゼンテーションを学ぶ②実践 動画から学んだことをまとめておく 今学期学んだことを活かして、英語の発話を日常に取り入れること

科目名	英語Ⅳ（英語ⅡA-2）		科目コード	CF104	
英文名	English IV (English II A)		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	山崎 寿美子	教員コード	147	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	国際情勢、文化、社会問題などに関するニュースや英字新聞などを活用し、それぞれのテーマについて考え、平易な英語を使ったプレゼンテーションを行う。英語を使って自らの意見を表現し、コミュニケーションをとる基礎を学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	コミュニケーションのツールとして英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。また、社会における様々な課題について自分の意見を英語で表現し、コミュニケーションがとれるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。				
授業外学習（予習・復習）	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次回の学習の導入を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	特になし				
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。				
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。また、各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う。				
成績評価方法	授業への積極的な参加（質問、発言などを含む）(50%)、発表(50%)で総合的に判断する				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	積極的に発話することが英会話の始まりであり習熟への近道である。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること				

1 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<社会問題>①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
2 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<社会問題>②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<社会問題>③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
5 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<国際情勢>①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
6 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<国際情勢>②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む<国際情勢>③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
9 回	学習内容 予習 復習	グループ学習①テーマを決める これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
10 回	学習内容 予習 復習	グループ学習②テーマに即して資料を集める これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	グループ学習③発表の構成を練る これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
12 回	学習内容 予習 復習	グループ学習④発表内容を作成する これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
13 回	学習内容 予習 復習	予備時間:学生の進捗状況に合わせて決める これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
14 回	学習内容 予習 復習	グループ発表 グループでプレゼンテーション資料を仕上げしておくこと 自分たちの発表や質問について振り返っておくこと
15 回	学習内容 予習 復習	全体の振り返りと総合討論 これまでの内容を振り返っておくこと 総合討論で出された課題について考えること

科目名	英語ⅡB-1		科目コード	CF211	
英文名	EnglishⅡB		科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)	
担当教員	山崎 寿美子	教員コード	147	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	金曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	英字新聞、学術雑誌、英語教材などを使用して、世界の文化・慣習・思想について学ぶ。それをふまえて、受講生がテーマを選び、ある文化・慣習・思想に関する発表を行う。				
授業の狙い・到達目標	異文化や価値観の違いなどについて理解を深め、英語を使って自らの考えを相手に伝えることができるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	簡易な英語で書かれた文章を読めることが望ましい。				
授業外学習(予習・復習)	授業のみならず、積極的に予習・復習することが語学力の向上に不可欠である。各自ノートを用意し、授業で使用する資料の語彙を調べたり、授業後に内容についてまとめたりする必要がある。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	Natsuki Matsui, Yasuhiro Iida, Naoko Kaneda, Ken Wing Poon. <i>Guess What?!-Intercultural Surprises</i> . Nan'Un-Do 2020.				
参考書・その他教材	各自、毎回の授業に必ず辞書を持参すること。英英辞典が望ましい。				
課題に対するフィードバック	テーマごとに出す課題に対しては、翌週の授業でコメントやアドバイスをする。				
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、プレゼンテーション(50%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	語彙や表現などを主体的に調べ書き留めるノートを準備すること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける。				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション—授業の目的、内容、進め方について説明する。 シラバスを読み、授業の内容についておおまかに理解しておくこと。 授業の趣旨を理解し、今後の取り組みについてイメージをもっておくこと。
2 回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える①ニジェールについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の挨拶・おしゃべりの文化について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
5 回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめてくる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
6 回	学習内容 予習 復習	スウェーデンの事例から、飲食文化について考える①スウェーデンについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	学習内容 予習 復習	スウェーデンの事例から、飲食文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	学習内容 予習 復習	スウェーデンの事例から、飲食文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国の少数民族や多文化共生の事例について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
9 回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える①タイについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
10 回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
11 回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の香りの文化について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
12 回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめてくる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
13 回	学習内容 予習 復習	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える①韓国について学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
14 回	学習内容 予習 復習	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
15 回	学習内容 予習 復習	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の食文化の継承について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめて、レポートを提出すること。

科目名	英語ⅡB-2		科目コード	CF212	
英文名	EnglishⅡB		科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)	
担当教員	山崎 寿美子	教員コード	147	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	金曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	英字新聞、学術雑誌、英語教材などを使用して、世界の文化・慣習・思想について学ぶ。それをふまえて、受講生がテーマを選び、ある文化・慣習・思想に関する発表を行う。				
授業の狙い・到達目標	異文化や価値観の違いなどについて理解を深め、英語を使って自らの考えを相手に伝えることができるようになる。また、世界の事象を学びながら自身の身の回りの問題として捉え直すことができるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	簡易な英語で書かれた文章を読めることが望ましい。				
授業外学習(予習・復習)	授業のみならず、積極的に予習・復習することが語学力の向上に不可欠である。各自ノートを用意し、授業で使用する資料の語彙を調べたり、授業後に内容についてまとめたりする必要がある。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	Natsuki Matsui, Yasuhiro Iida, Naoko Kaneda, Ken Wing Poon. <i>Guess What?!-Intercultural Surprises</i> . Nan'Un-Do 2020.				
参考書・その他教材	各自、毎回の授業に必ず辞書を持参すること。英英辞典が望ましい。				
課題に対するフィードバック	テーマごとに出す課題に対しては、翌週の授業でコメントやアドバイスをする。				
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、プレゼンテーション(50%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	語彙や表現などを主体的に調べ書き留めるノートを準備すること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける。				

1 回	学習内容 予習 復習	韓国の事例をふまえ、受け継がれる食文化について調べる 資料を読み、食文化の継承について調べてくること 授業で受けた意見をふまえ、調べた内容を精査すること。
2 回	学習内容 予習 復習	トルコの事例をもとに、食文化の継承について理解を深める①トルコについて学ぶ 民族誌の一部を読んでくること 分からなかった部分を読み返しておくこと
3 回	学習内容 予習 復習	トルコの事例をもとに、食文化の継承について理解を深める②民族誌を読む(前半) 資料を読み、分からない単語を調べておくこと 分からなかった部分を読み返しておくこと
4 回	学習内容 予習 復習	トルコの事例をもとに、食文化の継承について理解を深める③民族誌を読む(後半) 資料を読み、分からない単語を調べておくこと 分からなかった部分を読み返しておくこと
5 回	学習内容 予習 復習	韓国とトルコの実例をふまえ、他の食文化の継承について調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の実例について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
6 回	学習内容 予習 復習	食文化の継承について発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめてくる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
7 回	学習内容 予習 復習	カナダの実例から、多言語社会について考える①カナダについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	学習内容 予習 復習	カナダの実例から、多言語社会について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
9 回	学習内容 予習 復習	カナダの実例から、多言語社会について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の挨拶・おしゃべりの文化について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
10 回	学習内容 予習 復習	カナダの実例から、多言語社会について考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめてくる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
11 回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの実例から、多文化共生について考える①ニュージーランドについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
12 回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの実例から、多文化共生について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
13 回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの実例から、多文化共生について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国の少数民族や多文化共生の実例について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
14 回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの実例から、多文化共生について考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめてくる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
15 回	学習内容 予習 復習	これまでの振り返り:世界の文化・慣習・思想について、諸事例をふまえて考える これまでの授業の内容を確認しておくこと。 授業を通して学んだこと、面白かったこと、調べたいことをまとめる。